

## シラバス情報

授業方法	講義・実験・実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	自動車基礎		
必修・選択	必修科目・選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年前期	月曜日	3・4時限あるいは5・6時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	山光 史哲		
実務経験	有・無		
授業の目的	まず、機械製図の基礎知識について解説し、次に、電気回路及びオームの法則等について講義する。		
テキスト	① 基礎自動車工学 ② 製図		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	自動車図面	用紙や線について講義する。	②p.1~18
第2回	自動車図面	投影法について講義する。	②p.19~36
第3回	自動車図面	展開図を表す方法について講義する。	②p.37~74
第4回	自動車図面	ねじの寸法等を表す方法について講義する。	①p.55
第5回	自動車図面	電気図記号や電気回路図について講義する。	①p.83
第6回	オームの法則 (直列接続回路)	直列接続回路の合成抵抗と流れる電流を求める。	①p.84
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	オームの法則 (並列接続回路)	分数の足し算の練習と並列接続回路の合成抵抗を求める。	①p.85
第8回	オームの法則 (並列接続回路)	並列接続回路に流れる電流を求める。	①p.85
第9回	オームの法則 (直並列接続回路)	直並列接続回路に流れる電流を求める。	①p.85
第10回	オームの法則 (直並列接続回路)	並列接続回路の応用問題を実施。	①p.85

第 11 回	電源の直列接続と並列接続	電源の性質について講義する。	①p.85
第 12 回	電力と電力量	電気エネルギーについて講義する。	①p.86,87
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する 筆記試験	
到達目標	図面を読み取れるようになる。また、オームの法則を用いて電圧や電流を計算で求めることができるようになる。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p style="margin-left: 40px;">中間試験の点数 30%</p> <p style="margin-left: 40px;">期末試験の点数 40%</p> <p style="margin-left: 40px;">平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p style="margin-left: 40px;">60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		